

# 2024 年度渡り鳥保全調査事業報告

－福井県指定鳥獣保護区の鳥類相－

福井県自然保護センター\*1

要旨：2024 年度に、福井県内の福井県指定鳥獣保護区 1 カ所において、鳥類相とその繁殖状況を調査した。定点調査およびラインセンサス調査により 1 カ所でのべ 2 日間実施した結果、3 日 15 科 24 種の鳥類の生息を確認した。鳥獣保護区における定期的な鳥類相調査は、行政上の必要性だけでなく生物多様性の長期的・広域的モニタリングの視点からも有益であり、今後も継続して実施していく必要がある。

キーワード：鳥類相, 定点調査, ラインセンサス調査, 鳥獣保護区

**Fukui Nature Conservation Center\*1. 2025. Results of the fiscal year 2024 bird census: Avifauna of wildlife protection areas in Fukui prefecture. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 28:13-16.**

We conducted a survey to study the avifauna and their breeding status at 1 wildlife protection areas in Fukui prefecture during the fiscal year 2024. In all 24 bird species (belonging to 15 families and 3 orders) were recorded at 1 site over a period of 2 days by a spot-census survey and line-census survey. Periodic avifauna surveys in the wildlife protection areas must be continued to provide administrative benefits and help in the long-term monitoring of biodiversity on a regional scale.

**Key words:** avifauna, point-census survey, line-census survey, wildlife protection area

## はじめに

鳥獣保護区は、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(環境省 2015)にもとづいて、鳥獣の保護を図ることを目的として指定されるが、その指定、管理等を適切に行うために、既設の鳥獣保護区やその新規指定の候補地となる地域において、鳥獣の生息状況等を調査することが、環境省告示による「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針」(環境省 2021)において定められている。

福井県では、カモ科鳥類の生息調査 (1969 年～) や渡り鳥保全調査 (1977 年～) によって、県内における鳥類の生息状況を調査してきた。このうち、既設の鳥獣保護区等を対象とした集中的な調査が実施されている (福井県自然保護センター 1995a, 1995b, 1996, 1999, 2001, 2002, 2009, 2010a, 2010b, 2011, 2012, 2013, 2022, 2023, 2024)。本稿では 2024 年度に実施した渡り鳥保全調査事業の結果について報告する。

## 調査地と調査方法

調査は春季と秋季の 2 季に分け、春季は 2024 年 5 月 11 日、秋季は 2024 年 10 月 17 日に実施した (表 1, 図 1)。調査地点は、2025 年度に鳥獣保護区の指定期間が終了する地点である「福井鳥獣保護区」1 カ所を選定した。のべ調査日数は 2 日間であった。調査はスポット (定点) センサス法とラインセンサス法を組み合わせた方法により、1 回約 2 時間半程度の調査を実施した。調査スポット点数は 2 点、調査ルート本数は 1 本、調査ルートの距離は 1.6 km であった。調査は野鳥の同定、観察に習熟した日本野鳥の会福井県の会員に依頼して行った。調査の時間帯は鳥類が出現しやすい朝方とし、各調査地に設定したスポットで調査し、スポットからの距離は限定せず目視やさえぎりなどで確認できた鳥類について、種ごとに個体数を記録した。さえぎりや餌の運搬などの繁殖行動を確認した際は、その行動についても記録した。なお、鳥類の種の分類は「日本鳥類目録改訂第 8 版」(日本鳥学会 2024) に従った。

\* 執筆者・連絡・別刷請求先 (Corresponding author) : 大宮正太郎 Written by Shotaro OMIYA. E-mail: s-oomiya-ov@pref.fukui.lg.jp

1 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2

Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

表1 調査の概要.

調査地名	3次メッシュ <sup>†</sup> 番号	緯度 <sup>†</sup>	経度 <sup>†</sup>	標高 <sup>†</sup> (m)	調査 時期	調査年月日	調査者	スポット数 (地点)	ルート踏査距離 (km)	確認種数 <sup>‡</sup> (種)	春秋計 <sup>‡</sup> (種)	確認個体数 (個体)	春秋計 (個体)
福井鳥獣保護区	53367150	36.056481	136.209417	84	春季	2024/5/11	村上公輝・蒔田憲三	2	1.6	22	24	140	427
					秋季	2024/10/17	村上公輝・蒔田憲三	2		15		287	

<sup>†</sup> 3次メッシュ番号, 緯度, 経度, 標高は調査地におけるスポットのうち, ラインセンサス開始地点を示した, 座標は世界測地系.

<sup>‡</sup> 「キツクsp.」など, 種が特定されていないものは確認種数に計上していない.

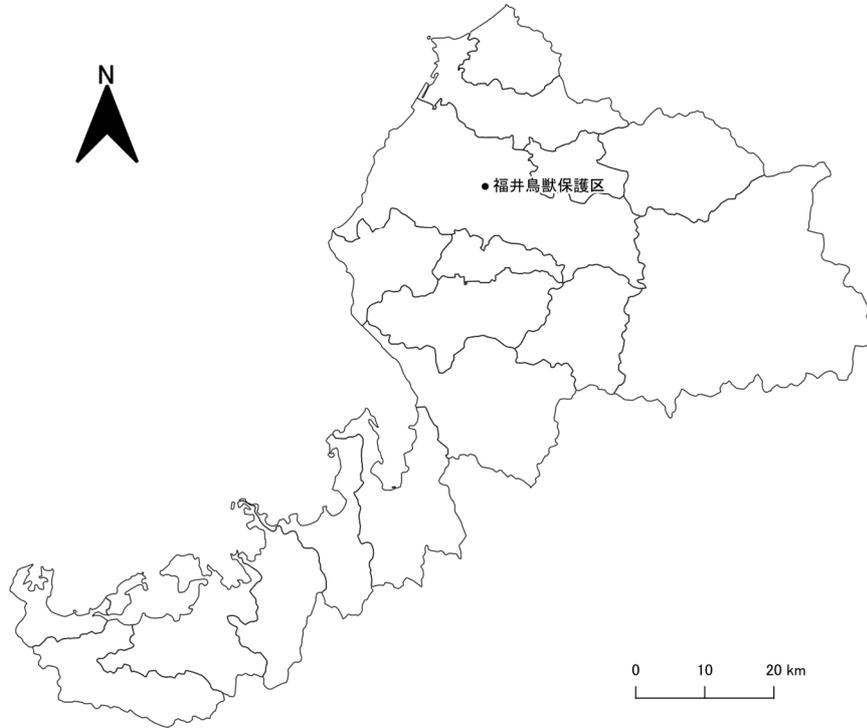


図1 調査地点の位置.

## 結果と考察

本調査により, 3目15科24種の鳥類が記録され, 繁殖行動が2目9科12種の鳥類で確認された(表2).

本調査で確認された鳥類のうち, 春季・秋季とも確認された種はキジバト *Streptopelia orientalis*, アオバト *Treron sieboldii*, コゲラ *Yungipicus kizuki*, アオゲラ *Picus awokera*, ハシボソガラス *Corvus corone*, ハシブトガラス *C. macrorhynchos*, ヤマガラ *Sittiparus varius*, シジュウカラ *Parus cinereus*, ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*, エナガ *Aegithalos caudatus*, メジロ *Zosterops japonicus*, イカル *Eophona personata*, カワラヒワ *Chloris sinica* の計13種, 春季にのみ確認された種は, サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*, ツバメ *Hirundo rustica*, イワツバメ *Delichon dasypus*, ヤブサメ *Urosphena squameiceps*, センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus*, エゾムシクイ *P. borealoides*,

クロツグミ *Turdus cardis*, キビタキ *Ficedula narcissina*, スズメ *Passer montanus* の計9種, 秋季のみ確認された種は, アカハラ *Turdus chrysolaus*, ジョウビタキ *Phoenicurus aureoreus* の計2種であった.

また, 確認された鳥類のうち, 国レッドリスト2020(環境省2020)もしくは福井県レッドデータブック(福井県安全環境部自然環境課2016)の掲載種は以下のとおりである: サンショウクイ(国・絶滅危惧II類, 県・要注目), ヤブサメ(県・要注目).

本調査の調査回数は1調査地につき年2回のみであり, 地域の鳥類相を十分に把握できる調査頻度ではない(大迫ほか1996). また, 種の識別や繁殖状況について詳細に明らかにするためには, 標識調査も含めた精密な調査が必要である(大迫1989). しかし本調査のように, 過去の知見が蓄積されている地域で定期的に鳥類相調査を行うことは, 鳥類をはじめとする自然環境の長期的な変化をモニタリングする上で有益と考えられるため, 今後も継続的に調査を実施していく必要がある.

表2 各調査地における出現種とその確認個体数。  
数字に下線がある種はその調査地で繁殖行動が確認された種を示している。

目	科	和名	学名	調査地点と調査時期	
				福井鳥獣保護区	
				春季	秋季
ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	<u>3</u>	4
		アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	<u>1</u>	2
キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>	2	4
		アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	1	1
		(キツツキsp.)	-	0	1
スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	<u>7</u>	0
	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	14	5
		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	2	1
	シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>	5	9
		シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>	<u>21</u>	18
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	13	158
	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	2	0
		イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	10	0
	ウグイス	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	<u>3</u>	0
	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	14	1
	ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	<u>1</u>	0
		エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	<u>2</u>	0
		(ムシクイsp.)	-	0	14
	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	<u>6</u>	37
	ツグミ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	<u>1</u>	0
		アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	0	1
	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	<u>13</u>	0
		ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	0	4
	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	6	0
	アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>	<u>5</u>	21
カワラヒワ		<i>Chloris sinica</i>	<u>8</u>	6	

## 謝辞

現地調査は、下記の方に実施して頂きました。ここに記して感謝申し上げます。(五十音順、敬称略)：  
蒔田憲三，村上公輝。

## 引用文献

福井県安全環境部自然環境課(編). 2016. 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.  
福井県自然保護センター. 1995a. 渡り鳥保全調査報告 1992 年度：鳥獣保護区の鳥類相 I. Ciconia

(福井県自然保護センター研究報告) 4:1-8.  
福井県自然保護センター. 1995b. 渡り鳥保全調査報告 1993 年度：鳥獣保護区の鳥類相 II. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 4:9-16.  
福井県自然保護センター. 1996. 渡り鳥保全調査報告 1994 年度：鳥獣保護区の鳥類相 III. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 5:1-7.  
福井県自然保護センター. 1999. 渡り鳥保全調査報告 1997 年度：鳥獣保護区・休猟区の鳥類相 IV. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 8:1-8.  
福井県自然保護センター. 2001. 渡り鳥保全調査報告 1999 年度：鳥獣保護区の鳥類相 V. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 9:17-23.  
福井県自然保護センター. 2002. 渡り鳥保全調査報

- 告 2000 年度：鳥獣保護区の鳥類相VI, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 10:1-8.  
福井県自然保護センター, 2009. 渡り鳥保全調査報告 2008 年度：鳥獣保護区の鳥類相 I, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 14:1-9.  
福井県自然保護センター, 2010a. 渡り鳥保全調査報告 2009 年度：鳥獣保護区の鳥類相II, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 15:1-13.  
福井県自然保護センター, 2010b. 渡り鳥保全調査報告 2007 年度：鳥獣保護区の鳥類相III, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 15:15-22.  
福井県自然保護センター, 2011. 渡り鳥保全調査事業 2010 年度：鳥獣保護区の鳥類相IV, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 16:1-9.  
福井県自然保護センター, 2012. 渡り鳥保全調査事業 2011 年度：鳥獣保護区の鳥類相V, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 17:1-9.  
福井県自然保護センター, 2013. 渡り鳥保全調査事業 2012 年度：鳥獣保護区の鳥類相VI, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 18:1-11.  
福井県自然保護センター, 2022. 2021 年度渡り鳥保全調査事業報告：福井県指定鳥獣保護区および鳥獣保護区周辺の鳥類相, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 25:21-26.  
福井県自然保護センター, 2023. 2022 年度渡り鳥保全調査事業報告：福井県指定鳥獣保護区の鳥類相, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 26:23-26.  
福井県自然保護センター, 2024. 2023 年度渡り鳥保全調査事業報告：福井県指定鳥獣保護区の鳥類相, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 27:13-16.  
環境省, 2015. 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 (平成 14 年法律第 88 号).  
環境省, 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について (令和 2 年 3 月 27 日付け報道発表資料). <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照日 2024 年 12 月 20 日).  
環境省, 2021. 鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針 (令和 3 年 10 月 26 日環境省告示第 69 号).  
日本鳥学会, 2024. 日本鳥類目録改訂第 8 版, 日本鳥学会, 東京.  
大迫義人, 1989. 鳥類相調査における捕獲, ラインセンサスと定点観察の特性, *Strix* 8:179-186.  
大迫義人・納村力・多田雅充, 1996. 福井県の丘陵地における鳥類相の効率的な調査日数と調査時期, *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 5:39-45.